

あのとぎの常呂・写真館

VOL 46

(1964年)

昭和39年6月13日

常呂漁港第2期修築工事起工式

▶昭和39年8月号の「広報とことろ」と「常呂漁協40年誌」で伝えている起工式の概要を紹介します。

昭和33年に完成した常呂漁港は、常呂町水産業の発展に大きな役割を果たしてきました



たが、当時の漁業振興対策が沿岸から沖合への転換が叫ばれ、漁船も逐次大型化され、漁船数も次第に増加したため、現在の漁港では狭くなったきました。そのため、5ヶ年計画で40,000㎡拡張する第2期工事が決定し、6月13日に常呂漁港で起工式が行われました。起工式が終わると、この日午前中に行われた太幌橋竣工を併せた祝賀会が中央公民館で開かれました。



昭和41年8月21日 常呂漁港開口爆破

珍しい写真があるので、「常呂漁協40年誌」を引用して紹介します。

「…常呂漁港第2期工事に伴い、出入口を締め切り拡張工事、浚渫工事を行っていた常呂漁港はようやく完工となり、締め切っていた出入口を爆破開口することになり、8月21日午後、仕掛けられたダイナマイトが一斉に爆発、大音響とともに出入口が開き、同時に海水が港内に奔流となって流れこみ、またたく間に港内は満水となった。港の開口により、漁船の利用が可能となり、今までの不便さから解放され、利用する漁民の喜びはひとしおのものがああり、見物に集まった漁民から期せずして万歳の声があがっていた」

*下：拡張・浚渫工事中の漁港と爆破直前の見物人



*左・次ページ
爆破直後、海水が港内に
勢いよく流入しています



*下4枚
港内が満水となり、沖合で
待機していた漁船が入港



*左・次ページ
常呂漁協の魚菜市場を
背に大勢の人が見物し
ています



昭和44年10月16日

常呂漁港第2期修築工事竣工式

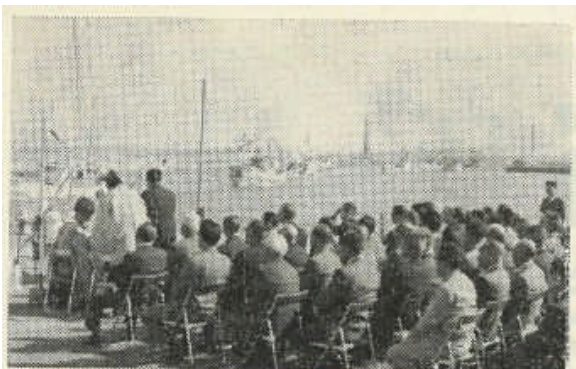
5年間にわたる工事の完成を、昭和44年11月号の「広報ところ」はほぼ1ページを割いて伝えています。ここでは、抜粋して紹介します。

▶常呂漁港の拡張工事が完成し、10月16日関係者150人が出席して竣工式が行われ、完成の喜びを分かち合いました。この完成によって、従来164隻の漁船収容力が280隻に大幅にアップし、100トン級の大型漁船が楽に入港することができるようになり、今まで網走港や紋別港に入港していたオホーツク海のイカ、サンマ漁をする外来船の出入りも一段と活発化し、大きな飛躍が期待されます。

▶竣工祝典には、約30隻の漁船が花火を合図に色とりどりの大漁旗を掲げて港外から一斉にパレード入港しました。その後、中央公民館で行われた祝賀会では漁協青年部による楽団演奏が慰労され、祝典に花を添えました。

▶この竣工式に先立ち、9月16日に新港内に海水導入が行われました。午前11時、既設漁港との仕切りとなっていたコンクリート壁の防水壁が轟音とともに爆破され、46,000トンの海水が新港に流れこみ、20分ほどで満水となりました。

*下2枚は、広報掲載の写真です



完成した漁港と修抜風景



コンクリート壁の爆破